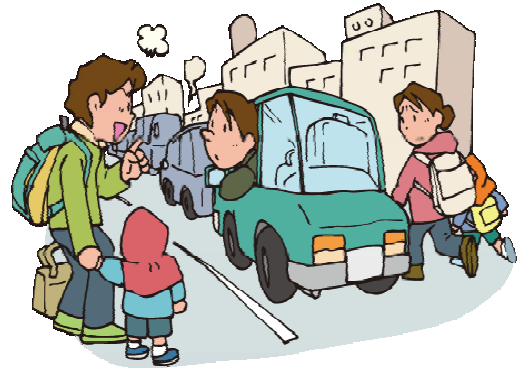


**帰宅はあわてずに! ~むやみに移動を開始しない~**

- ◎大規模な地震発生の直後に帰宅しようとすることは、交通機関が利用できない、情報が錯綜して帰宅ルートが確認できない、火災やガラス等の落下により負傷する可能性が高いなど大変危険です。
- ◎大勢の人が一斉に動き出すと、パニックが発生する恐れがあるほか、救助・救命活動や消火活動などの応急対策活動の妨げにもなります。まずは、「むやみに移動を開始しない」ことが大切です。



◎川崎市では、「災害時における帰宅困難者支援に関する協定書」を九都県市(※)において締結しています。九都県市では、コンビニエンスストアやファーストフード、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド等と帰宅困難者支援協定を締結し、大規模災害時の帰宅困難者支援対策に共同で取り組んでいます。これらコンビニエンスストアなどを「災害時帰宅支援ステーション」といい、水やトイレ、ラジオ等で知り得た通行可能な道路、近隣の避難場所に関する情報提供をしています。



※九都県市：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、千葉市、さいたま市、相模原市、川崎市

- ◎安否確認や交通情報等の収集を行い、災害の状況を十分に見極めた上で、従業員や顧客等を帰宅させるか、又は事業所に留めるかを検討しましょう。また、歩いて帰宅しなければならないときのために、歩きやすい靴・服装を備え、留め置いた場合の備蓄食料の確保に努めましょう。



**12 事業継続計画(BCP)の重要性 (BCP : Business Continuity Plan )**

**事業継続計画 (BCP) とは**

- ◎事業継続計画(BCP)とは、災害時にあらかじめ重要業務が中断しないように対策を実施するなど、企業を守るための経営戦略をいいます。
- ◎経営者にとって、企業・事業所存続の要である「事業継続」を死守するための行動計画である事業継続計画(BCP)の策定は、非常に重要です。複合災害に備えるためにも、事業所ごとに電力や燃料の確保を行きましょう。また、事業所及び従業員の住居における耐震診断の実施や転倒防止措置などを徹底するよう指導してください。

